

殺虫剤

バイオマックス® DF

バチルス チューリンゲンシス菌の
生芽胞及び産生結晶毒素…………… 10.0%
(力価として1000B.m.w 単位/mg)

種類名/ BT水和剤
農林水産省登録/ 第20899号 (住友化学登録)
毒性/ 普通物*
有効年限/ 5年
包装/ 335g×20、500g×20

特 長

- 選択性の高い生物農薬です。
- 有機JAS規格の定める有機農作物の生産に使用可能です。
- 高活性、速効的なクルスターキ系生菌剤です。
- 殺虫性タンパク質の効果を生芽胞が増強します。
- 製剤は粉立ちの少ないドライフロアブルです。

適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数*	使用方法
果 樹 類 (りんごを除く)	ハマキムシ類	2000～3000倍	発生初期 但し、収穫 前日まで	—	散布
	シャクトリムシ類 ケムシ類	2000倍			
り ん ご	ハマキムシ類 ケムシ類	2000～3000倍			
	シャクトリムシ類	2000～4000倍			
樹 木 類	ケムシ類 シャクトリムシ類	2000倍	発生初期		

上手な使い方

- りんごの使用時期について

【開花期前後のミダレカクモンハマキ防除】

バイオマックスDFはりんごのミダレカクモンハマキに対して優れた防除効果が確認されております。また、花粉媒介昆虫に対する影響はほとんどありません。このため、メメコバチなどの花粉媒介昆虫を用いた栽培体系で、開花期前後に発生するミダレカクモンハマキ越冬幼虫の防除に適しています。

【夏期のシャクトリムシ類、ハマキムシ類防除】

バイオマックスDFは土着の天敵昆虫類に対する影響がほとんどありません。このため夏期に発生するハマキムシ類のふ化幼虫や近年発生が増加しているシャクトリムシ類に、天敵昆虫類の害虫密度抑制効果を活かした防除が可能です。

使用にあたって

■使用上の注意

- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 使用に当っては展着剤を加用することが望ましいです。
- 本剤は若齢幼虫に有効なので、若齢幼虫期に時期を失わずに散布してください。
- 空中散布には使用しないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混 用

- アルカリ性の強い石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬およびアルカリ性の強い葉面施用の肥料などの混用はさけてください。

■蚕 毒



●蚕に対する毒性があるので、養蚕主産県その他主要養蚕地帯および養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しないでください。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は、飛散してかからないよう風向等に十分注意して散布してください。なお、本剤の使用に当たっては、散布地域の使用規制に従い、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。



- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。